

# 柏野だより

## 『柏野学区防災まちづくり計画』を策定しました！

平成27年度から3年間にわたって、各町会長をはじめ多くの方々とともに進めてきた「防災まちづくり」の取り組みの成果として、『柏野学区防災まちづくり計画』が策定されました。

多くの方に参画いただいたことに、あらためてお礼申し上げます。

今後、災害に強く住みやすい柏野学区をつくっていくため、この計画に基づく事業を推進していくこととなります。引き続き学区のみなさまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

（柏野学区防災まちづくり委員会 委員長 片桐直哉）

### 「防災まちづくり」の3年間の取組

#### 平成27年度（1年目）

- まちあるき
- 住民意見交換会



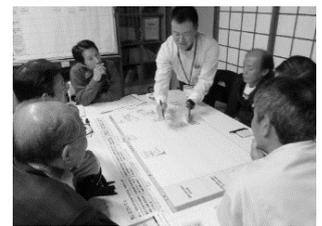
#### 平成28年度（2年目）

- アンケート調査
- アンケート報告会
- 御前通の一部拡幅整備



#### 平成29年度（3年目）

- 各種団体意見交換会
- 『防災まちづくり計画』（案）への意見交換



## 《防災まちづくりの目標、基本方針と具体的な取組》

### ■防災まちづくりの目標

#### 明日の柏野学区の骨格をつくる

#### 安心・安全へ まちの大改造計画

- ・柏野学区は、昔ながらの風情ある町並みがあり、そこで暮らす人のなりわいや生活の息づかいが聞こえてくるコミュニティ豊かなまちです。
- ・一方で、古い木造家屋や路地が密集するなど防災上の課題を抱えており、倒れない・燃えにくい家づくりや避難しやすい道づくり、燃え広がらない空間づくり等に取り組んでいく必要があります。
- ・また、ハード整備だけでなく、取組を進めていくための学区の推進体制づくりや住民意識の醸成、地域防災力の向上についても取り組んでいかなければなりません。
- ・そのためには、一人ひとりや町内会、学区等のそれぞれの主体ができる身近なことから実践し、着実にまちの防災性を向上させつつ、長期的な課題解決に向けてしっかりと合意形成を図りながら取組を進めていくことが重要です。
- ・地域が一体となって防災まちづくりの取組を継続し、その成果を積み重ねていくことで、次世代の柏野学区を担う子どもたちに、魅力ある、安心安全なまちを引き継いでいきます。

## ■防災まちづくりの基本方針と具体的な取組

み

基本方針1：防災上重要な「みち」を確保し、安全性を高めます

- ▶鞍馬口通・蘆山寺通・寺之内通、御前通・鞍馬口通から寺之内通間の南北方向の通りを防災上重要な「みち」として位置づけ、道路の部分拡幅や全体拡幅に向けた取組
- ▶沿道の建物の耐震化・防火対策の促進、交差する道との隅切りの整備、無電柱化の取組

ち

基本方針2：生活道路の利便性を高めつつ、

避難できる「みち」づくりに取り組みます

- ▶危険ブロック塀などの危険箇所の改善、袋路の2方向避難の確保、細街路の拡幅、沿道の建物の耐震化・防火対策の促進、路地の適正管理
- ▶建替え時の後退部分の適正管理に関するルールづくり、私道の認定道路（市道）化に向けた取組

基本方針3：柏野らしい風情ある町並みを残していきます

- ▶柏野らしい町並みを維持しつつ、更新がしやすい環境づくりによる町並みの保全・継承

い

基本方針4：倒れない・燃えにくい「いえ」づくりに取り組みます

- ▶建物の耐震化・防火対策の促進
- ▶家の前に燃えやすい物を置かない、火災報知機の設置、町内での火の用心等の火災予防啓発など建物の中及びその周囲の安全対策の取組

え

基本方針5：安心安全な生活環境にするために、空き家対策に取り組みます

- ▶所有している空き家の適正管理、地域での空き家の把握・見守り、空き家所有者への利活用や適正な管理の促進
- ▶所有者や事業者と連携した空き家発生の予防、空き家利用やそのルールづくり
- ▶所有者、京都市と連携した老朽空き家への適切な対応

基本方針6：まちの魅力である京町家の保全や継承に向けて取り組みます

- ▶京町家の所有者に住み継ぎ等の大切さを伝え、京町家の保全・継承を図る

ま

基本方針7：ゆとりある市街地空間を確保し、まちの防災性を高めます

- ▶既存の空き地の有効活用や身近なポケットパークの確保
- ▶交差点や角地の隅切りや一時避難地や消防活動空地等の確保
- ▶路地や街並みの魅力を活かした敷地の集約化や共同化などの一体的・面的な手法を用いた対策

ち

基本方針8：地域コミュニティを活かした地域防災力の向上を図ります

- ▶防災への意識醸成、防災上の課題や「地域の集合場所」、防災設備を確認・点検
- ▶災害時の連絡体制、災害時要配慮者の把握、避難誘導方法などの災害時の避難に関するルールづくり
- ▶日頃から地域住民同士のコミュニケーションを大切にし、災害時に対応する力を高めるための町内会への加入促進や地域行事等への参加促進

基本方針9：学区全体で継続してまちづくりを進めていくための

新たな仕組みや体制づくりを構築していきます

- ▶学区全体で継続して防災まちづくりを進めていくための体制の検討
- ▶学区内での開発等の情報を把握するための仕組みづくり、防災まちづくりの資源を確保するための仕組みづくりの検討

# 柏野学区防災まちづくり方針図

## 【御前通】【寺之内通】【蘆山寺通】

- ・ 日常の通過交通の利便性を図り、防災上重要な「みち」として、緊急車両の円滑な通行や避難経路を確保するために、沿道の耐震化・防火化や交差点の角地部分の隅切り整備を進めます。
- ・ 道路拡幅整備に向けて、無電柱化と合わせて、沿道住民及び関係者等との話し合いのもと進めます。

## 【鞍馬口通】

- ・ 防災上重要な「みち」として、沿道の耐震化・防火化を進め、避難経路や延焼防止機能を確保します。

- ・ 住民や土地所有者との話し合いのもと、敷地の集約化や共同化等により、まちの防災性を高め、住環境の改善に取り組みます。

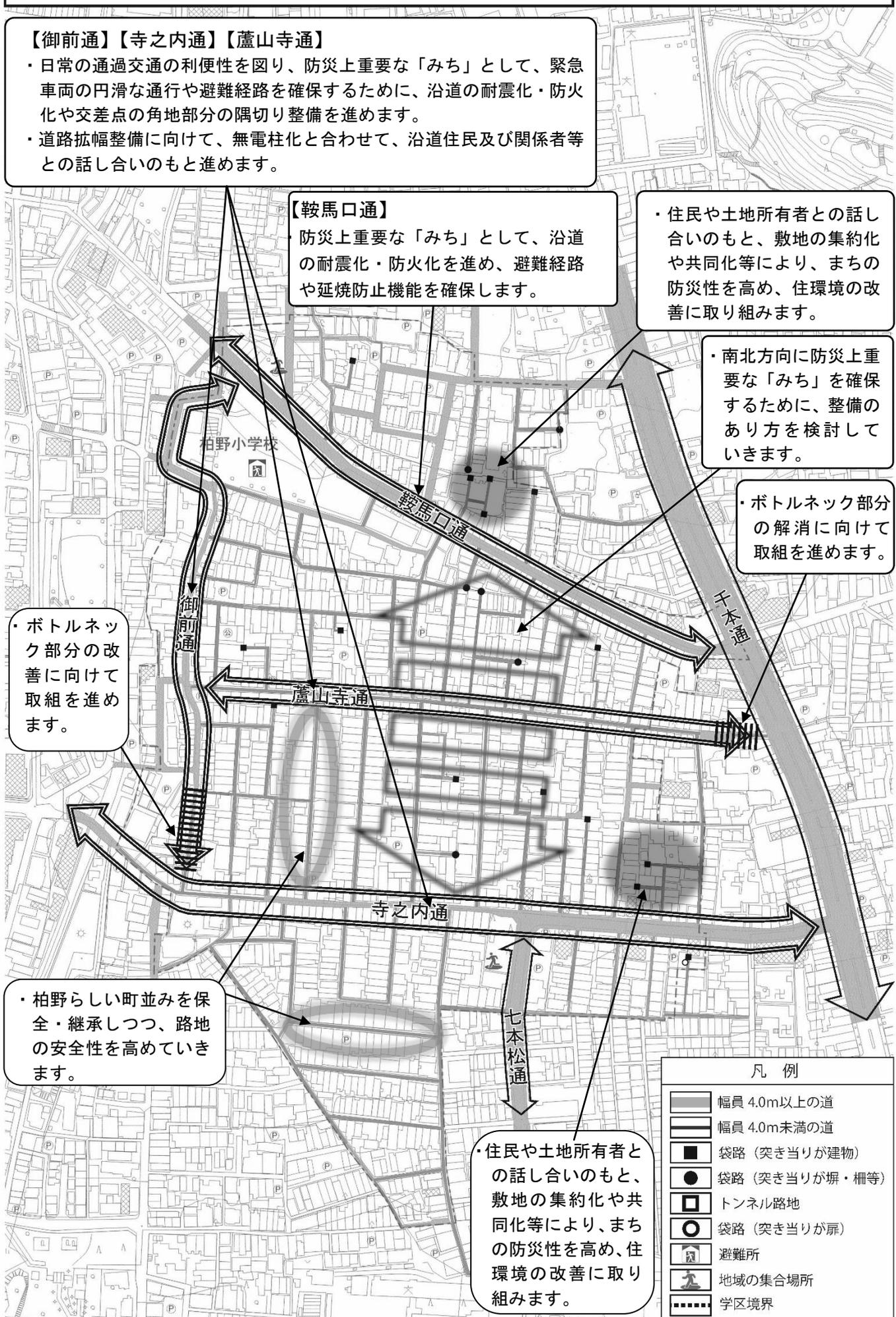
- ・ 南北方向に防災上重要な「みち」を確保するために、整備のあり方を検討していきます。

- ・ ボトルネック部分の解消に向けて取組を進めます。

- ・ ボトルネック部分の改善に向けて取組を進めます。

- ・ 柏野らしい町並みを保全・継承しつつ、路地の安全性を高めていきます。

- ・ 住民や土地所有者との話し合いのもと、敷地の集約化や共同化等により、まちの防災性を高め、住環境の改善に取り組みます。

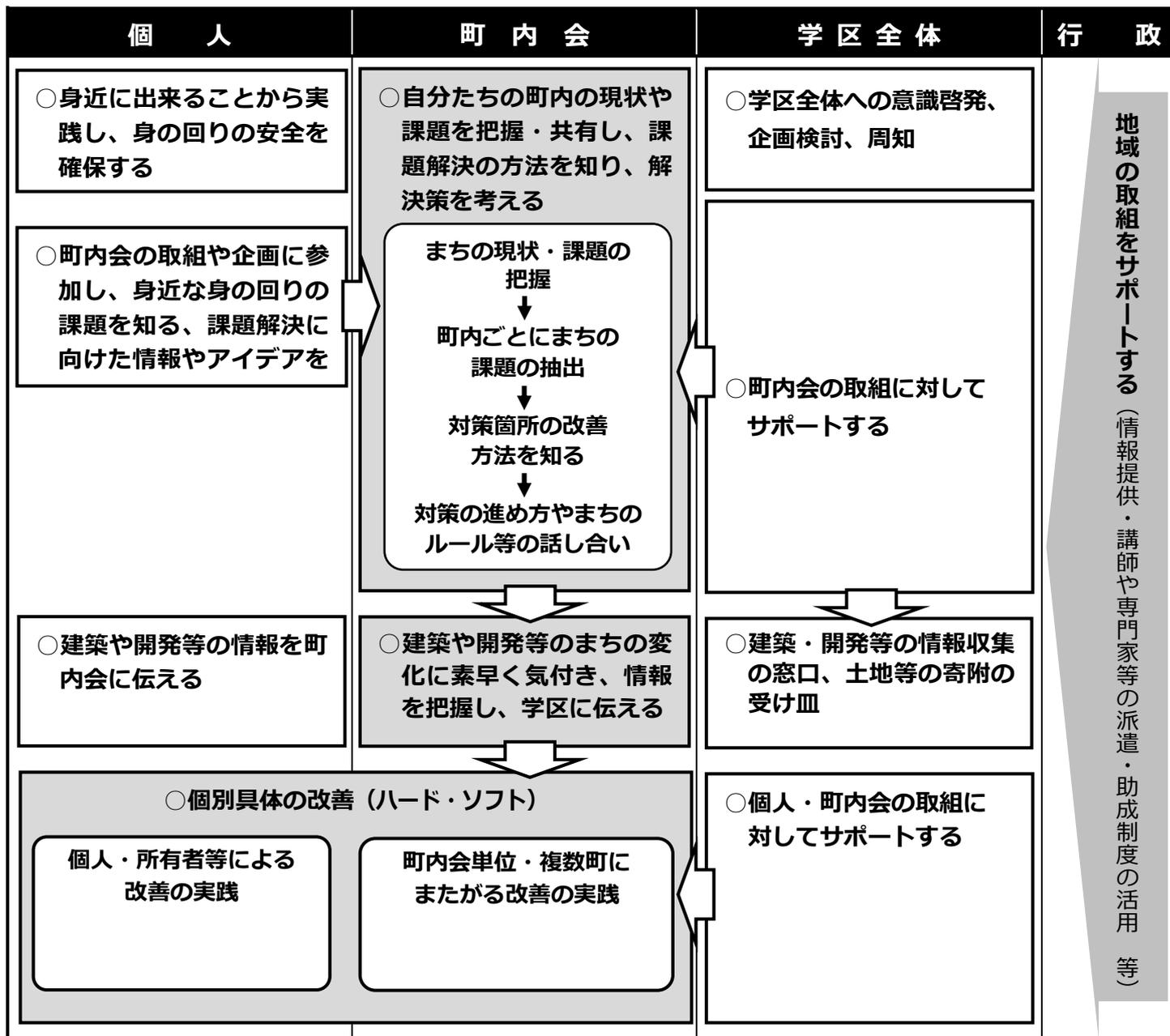


### 凡例

	幅員 4.0m以上の道
	幅員 4.0m未満の道
	袋路 (突き当りが建物)
	袋路 (突き当りが塀・柵等)
	トンネル路地
	袋路 (突き当りが扉)
	避難所
	地域の集合場所
	学区境界

## 《防災まちづくりの具体的な取組と推進体制》

防災まちづくりは、地域にもっとも身近な町内会を活動の主体としつつ、それを学区が支える体制を整え、行政や専門家等との連携のもとで、住民みんなが参画・協力して取組を継続的に進めていきます。



## 《防災まちづくりの進め方》

「災害につよいまち」を実現するためには、**まちの変化をしっかりと把握しつつ、すぐにできる取組を着実に進めるとともに、息の長い対策に継続的に取り組んでいくことが必要**です。

そこで、平成 30 年度以降は、防災まちづくりの目的や 1 年間の取組等について、学区や各町内会が確認・共有するために、地域行事に伴う会議と併せて「**定例会議**」を開催します。また、取組を継続していくために**必要な活動費や基金等も確保**していく予定です。

さらに、町内会が毎年継続して取り組んでいくための『**行動チェックリスト**』、**防災上重要な「みち」の拡幅整備や市道化認定に向けた取組、路地や宅地が密集しているエリアの対策などの長期的な取組**について、引き続き取り組んでいきます。

地域の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。